

ち〜ず

いつも笑顔で仲よく生活しています。
お一人おひとりの自立をお手伝いしています。
平成30年 1・2月号

No. 45

『福笑い』

「何するの?」「これはね、顔だよ」「あっ!分かった!福笑い
でしょ?」福笑いのはじまり、はじまり!
みんなでジャンケン。一番先はAさんだ。「あれ?見えないよお」
「どこ?どこ?まゆは?目は?鼻は?」
次々にみんなでおもしろい顔に大笑い。目隠しを取ったお年寄り
も大笑い。「元旦から福が来たね」



『おやつ作り』

おやつにりんごのコンポートを考えました。
「今日は何を手伝ってくれるんえ?」「りんごの皮むきをお願い
します」「できることは、何なりと」
みんなで大量のりんごの皮をむきました。男性も手伝って下いま
した。
「おやつも楽しみじゃけど、みんなでするのもええなあ。毎日が
幸せよ!」「美味しいなあ」と会話も味も楽しみました。



『大正琴慰問』

大正琴の皆さんが慰問に来て下さいました。色鮮やかな衣装で登
場された皆さんに「まあ、綺麗ななあ」と目を丸くして見とれてい
ました。

演奏が一曲終わると「次は何の曲?」と聞きながら、歌詞カード
をめくって、『銀座カンカン娘』で唄うお年寄りもおられました。
最後は『ふるさと』で締めくくりました。



『津波等水害訓練』

2月22日、南海地震が起きたとの想定で、楽陽荘と合同で避難訓
練を行いました。

「地震です!」の声に、お年寄りの顔に緊張が見られました。津波
到着までは時間があるとの事で、落ち着いて誘導できました。また
楽陽荘の職員も応援に駆けつけてくれました。

いつ起きるか分からない地震や津波に備えて、防災に対する意識
を忘れないようにしていきます。

ち〜ずでは、緊急連絡網を使った夜間想定防災訓練なども行って
います。



編集後記

だんだんと暖かい日が多くなり、外の散歩が楽しみな季節になっ
てきました。まだ、朝夕の冷え込みがありますので、体調管理には
気を付けていきます。

広報担当・・・ 薦原・山崎・小林・松木・美藤・西川